

とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

2011 冬号
NO. 51

非常事態宣言、 発令。



この1年間で既に**7**件！
(平成21年12月～平成22年12月)



飛出し注意

- | | |
|------------|-----------------|
| 平成21年12月8日 | 峰町志越 |
| 平成22年1月11日 | 上県町鹿見 |
| 3月21日 | 峰町櫛 |
| 6月8日 | 上対馬町浜玖須 |
| 11月1日 | 峰町大久保
豊玉町佐志賀 |
| 12月24日 | 上県町佐護 |

ケガをしたり、死んでいるヤマネコを見つけたら…

ヤマネコ緊急ダイヤル



0920-84-5577

※毎日24時間受け付けています。

写真提供：川口誠

ツシマヤマネコ交通事故非常事態宣言
を発令しました！

ツシマヤマネコの交通事故は、平成十八年度に過去最高の死亡数（七件）を記録して以来減少傾向にあり、平成二十年二月の上対馬町一重での事故発生後、無事故記録六七日を達成していました。しかし、平成二十一年十二月の峰町志越で事故が発生した後から再び増加傾向となり、既に七件の事故が発生しています。同じ期間内に十八件のヤマネコの保護収容がありました。交通事故での収容が一番大きな割合を占めており、その全てが死体での収容となっています。

この現状をうけ、環境省、長崎県、対馬市では、平成二十二年十二月八日に「ツシマヤマネコ交通事故非常事態宣言」を発令しました。この非常事態宣言は、今後ヤマネコの交通事故数を増加させないために、島民および島外からの観光客の皆さまにヤマネコの交通事故の現状を知っていただき、ヤマネコの飛び出しに注意して安全運転を心がけていただくことを目的としたものです。

動物との交通事故は、動物だけでなく、衝突回避のための急ハンドル・急ブレーキ等、ドライバー自身の重大事故につながる危険性もあります。特にシカやイノシシなどの大型動物との衝突の場合は、車両の破損や死亡事故等、大変大きな危険を伴います。

人と動物の双方の命を守り、快適に車を運転するためにも、ゆとりを持った安全運転をお願いします。

やまねこ News

下島北部で ヤマネコの糞を発見！

九月二十五日、金田城跡登山道を散策していた観光客から、ツシマヤマネコらしき糞を採取したとの連絡がありました。採取した糞を長崎県環境保健研究センターに提供し、DNA分析を依頼したところ、ツシマヤマネコのオスの糞であることが確認されました。平成十九年以降、下島におけるツシマヤマネコの確実な生息情報は、南部の内山周辺および小浦周辺地域で数回確認されただけでした。しかし今回の発見によって、ツシマヤマネコが生息できる環境が下島北部にも残されている可能性があることが確認できました。

今後センターでは長崎県・対馬市と協力して金田城周辺で痕跡調査と自動撮影調査を行う予定です。みなさんも下島でヤマネコの可能性のある糞を探してみてください！そして、発見した際はぜひセンターへご連絡ください！

～ヤマネコの糞の特徴～
 ・ネズミの毛が入っている
 ・イネ科の植物が入っている
 ・道の中央や橋の手前など
 分かりやすい場所に落ちている



下島で見つかった
ツシマヤマネコの糞

飲食店で ヤマネコ保護

十二月五日（日）午前十時半ごろ、上対馬町古里の飲食店「ももたろう」にツシマヤマネコが逃げ込んだとの連絡がセンターに入り、現場に向かいました。

大勢のギャラリーが見守るなか、厨房の換気扇をかじって逃げようとしていたヤマネコを無事に保護しました。保護されたヤマネコはオスの亜成獣で体重は一三二〇gと少し痩せており、保護直後は食欲のない日もありました。しかし、体調が良くなると思えるほどよく食べるようになりました。餌も〇gを超えました。今後はヤマネコの状態を見ながら野生復帰を検討する予定です。

今回もたくさんの方のおかげで、ヤマネコの命を救うことができました。これからもヤマネコの保護にご協力をお願いします。



保護されたヤマネコ

ヤマネコ目撃情報なら
 どんな些細なことでも結構ですので、
 やまねこセンターまでご連絡下さい。



職員日誌⑫ 『近い自然と遠い自然』

星野道夫さんの本に、人には2つの自然が必要、ということが書いてありました。2つの自然とは、身近な自然と遠くにある自然のことです。対馬にあてはめて考えてみると、日常生活で目にしたり、様々な産物を生んでくれる対馬の自然と、例えば知床に流水やヒグマがいて、そういう豊かな自然が存在することを想像したり、旅行したりして心が豊かになる、そういう自然のことかと思えます。一方で、知床の人にしてみれば、ヒグマがいる自然が身近な自然であり、野生のヤマネコがいる対馬は、不思議な魅力を持った遠い自然になります。

センターの仕事は、対馬の人にとっての近い自然、島外の人にとっての遠い自然である対馬の豊かな自然を、どちらの人にとっても価値のある状態とし、価値を提供していくことと考えています。「どちらの人にとっても」というところがなかなか難しいところです。

追伸 このたび結婚いたしました。今後ともよろしく願いいたします。

自然保護官：水崎
 （出身地：神奈川県）



センターの業務全般を
 統括しています!!
 趣味は登山とバイオリン
 です♪

第7回ヤマネコ・クイズ!

ヤマネコの大好物（食べ物）は何でしょう？

対馬の環 News



とらばさみおのへー!

六月二十二日に上県町で、また、八月六日に豊玉町においてとらばさみに掛かったヤマネコの保護がありました。とらばさみは平成十九年度から法律等で全面的に使用が禁止されており、とらばさみによるヤマネコの捕獲が判明したのは、前回から約三年半ぶりのことです。保護されたヤマネコ二頭のうち一頭は現在も治療を続けています。

環境省、長崎県、対馬市では対馬南・北警察署と協力して、「なくそう! とらばさみ0(ゼロ)キャンペーン」を実施しています。とらばさみを使ってテンやヤマネコを捕獲しても、別のテンやヤマネコがやってくるので、鶏を守るには、野生動物が侵入できないように鶏小屋を補修することが最も有効です。

センターでは、野生動物に襲われない鶏小屋のポイントをまとめてパンフレットを作ったり、実際に一緒に鶏小屋の補修をしたりしていただきます。

野生動物による鶏小屋の被害に悩まれている方は、是非センターまでご連絡ください。



とらばさみに掛かったヤマネコ

イベントあれこれ

舟志の森 やまねこ音楽祭 2010

十一月六日、舟志の森自然学校で今年もやまねこ音楽祭が開催されました。ジャズやポップス等の色々な音楽で来場者を楽しませてくれました。来場者からは「色々な音楽が聞けて楽しかった」「ぜひもっとたくさんの人に聞いてほしい」等の声が聞かれました。

内山盆地収穫祭

十一月二十一日、厳原町内山で内山盆地収穫祭が行われました。お祭りの参加者は千人を超え、盛況ぶりに驚きました。センターもツシマヤマネコのつばきちゃんとともに参加し、ヤマネコのパネル展示などを実施しました。

三地区合同意見交換会

環境省では、内山、佐護、舟志の三地区でヤマネコを活用して地域を元気にする取り組みを行っています。各地区の活動紹介と情報交換、および交流の為に、十二月五日に上対馬町舟志で三地区合同意見交換会を行いました。普段知ることのない他地区の取り組みを聞いて大変参考になったとの声が聞かれました。



合同意見交換会



もちつき



上対馬高校ブラスバンド



Ag・レンジャー
山本かゆく

第9回

対馬の守人

建築士

はな さき
鼻崎

しょう ぞう

象三さん

「『対馬で建築のことを知りたかったらあの人に聞け』と言われるような人になりたい」

厳原町下原出身。小学校と大学、就職してから6年間を島外で過ごし、30才で対馬に戻り独立。木造建築が好きで、大調小学校、半井桃水館、やまねこ工房、渡辺菓子舗などを手がけられています。やまねこセンターも、今年の改修工事の際にお世話になりました!

(社)長崎県建築士会では対馬の石垣を研究し、現在は有志で石屋根や藁小屋の設計図を残そうとしています。また「つしまの木で家を造る会」で対馬の木材で家を建てる活動を行い、対馬の森を豊かにするためにNPO法人対馬郷宿ではどんぐりポット苗を育てるなど、木を使うだけでなく育てるところから関わっています。



鼻崎 象三さん

センター用語

とらばさみ・・・動物を無差別に捕獲し、かつ大きな苦痛を与えて殺傷させてしまうワナ!!





★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

イベント報告&情報

ー自然ふれあいイベント報告ー

11/6 (土) あおぞら教室

舟志の森自然学校の青空の下、「舟志の森」で育てているどんぐりとネズミの関係や、生き物たちの様々な生き残り戦略を、ゲームを通して学びました。

夕方からの音楽祭でもどんぐりを使ったお菓子やヤマネコ展など、ヤマネコ尽くしの日でした☆



ネイチャーゲーム

12/12 (日) 龍良山散策

信仰の山として守られてきた龍良山原始林を、講師の長渡稔治先生のお話を聞きながら散策しました。

ツルの渡りや冬の植物たち、森の木々の移り変わりについて等、面白いお話に、参加者の皆さんも聞き入っていました。



長渡先生と参加者の皆さん

ー総合学習報告ー

スポーツの秋、勉強の秋、ヤマネコの秋!!

今年の秋はたくさんの小中学生がセンターに来てくれました。島外の学校との交流学习としてヤマネコ教室を利用してくださる学校、1年を通じた調べ学習の一環で、たくさんの質問を持ってきてくれた学校、センターのヤマネコ教室で学んだことを文化祭で発表してくれた学校もありました!!

やまねこセンターでは、ツシマヤマネコや対馬の自然を身近に感じてもらうための環境学習プログラムを用意しています。内容はヤマネコについてのレクチャーから、ヤマネコの糞分析体験まで様々です。

PTAのレクリエーション活動等、学校以外の団体も受け付けていますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください!! 今後もたくさんの皆さんとお会いできるのを楽しみにしています♪



佐須奈小学校 (10/13)



西小&三会小(島原)(10/19)



仁田小&高野小(島原)(10/21)



豊玉中学校 (10/22)



仁田小学校 (10/28)



比田勝小学校 (11/26)



南小学校 (出張) (11/24)



大船越小学校 (11/22)

ー島外でのイベントー

秋は島外でのイベントも盛り沢山でした。ツシマヤマネコの飼育下繁殖に協力して下さっている各動物園では「ヤマネコ祭」等のイベントが開催され、沢山のヤマネコファンで賑わいました。夏季実習生が学校の文化祭でヤマネコの展示を行うなど、島外各地でもヤマネコに興味を持つ人が増えたのではないのでしょうか?



ヤマネコ祭(井の頭自然文化園)



東京環境工科専門学校学園祭

☆イベント案内☆

2月20日(日) クラフト教室

良い森を作るための間伐で切られた木材を使い、オリジナルの作品を作ります。

時間: 13:00~15:30

集合場所: 舟志の森自然学校 (要予約)

※保険料のほか、材料費を頂きます。

「ヤマネコ講座」

CATVで放映中!

毎週水曜

10:00、17:00、

22:00~

是非見て

くださいね♪



つばきちゃん と一緒

イベントの参加には事前の予約が必要です。申込・お問合せは担当: 一條・杉山まで。

編集後記

対馬の冬の寒さにしっかり対応しているヤマネコ達。福馬は羨ましくなるくらいモコモコの冬毛を着込んでいます。夏より太っているように見えますが、決してそういうわけではないのです! 2011年が対馬とヤマネコと、皆さまにとって良い年になりますように。今年もよろしくお願いいたします!!



『ヒレンジャク』
今年も対馬にヒレンジャクが渡って来ました。今年は当り年なのか、毎日のように見かけます。
ヒレンジャクは多く、大群が一羽の電線に並んで止まっています。
ヤドリギ・ピラサ・ヤブランの実に
実カ

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。